

ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan

ISFJ2016 中間発表会活動報告書

文責：奥野 希美

【日時】

2016年10月2日（日）

【会場】

明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー・アカデミーコモン

【参加】

13 大学 29 研究会 17 分科会 82 チーム

【概要】

政策フォーラムに向けて、専門家であるコメンテーターの皆様からご意見をいただくことで、より実現性が高くかつ多角的な視点を含む政策提言論文にすることを目的として開催されました。全班の発表後に別途質問・コンサルティングの時間を設け、政策フォーラムの前に、可能な限り疑問点や不安点を解消できる機会となりました。

【企画内容】

20分間の発表を踏まえ、意見シートを記入する時間を3分間、質疑応答を5分間、コメンテーターのご講評を5分間取らせていただきました。ご講評に際し、事前提出の中間論文の論文内での論理破綻、事実誤認などの基本構成および発表の不備、論文と発表間の齟齬などの有無について確認していただき、忌憚のないご指摘をしていただきました。その後15分間のコンサルティングタイムでは、参加者の皆様が抱えている論文および発表についての疑問などにお答えいただき、論文や発表の向上に向けたアドバイスをさせていただきました。

【責任者総評】

今回の中間発表会は、中間カンファレンス後の研究進捗を発表し、最終論文に向けての方向性の最終調整を行うイベントとなりました。前回と比べ、参加者の皆さまも各分野での知識が深くなり、活発に質問や意見が交わされるなど、参加者間で良い刺激を与えられていたと思います。発表後のコンサルティングタイムでは、2人のコメンテーターと計30分間、個人相談や指導を受けることで、最後のイベントである政策フォーラムでの発表や最終論文に磨きをかけられる時間になったのではないのでしょうか。今後は政策フォーラムにて、皆様がより良い環境で素晴らしい政策提言を発表できるよう運営委員一同、精一杯サポートして参りたいと考えています。